

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 2月 22日

事業所名:学童クラブそよ風

		チェック項目	はい	いいえ	未記入	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14				
	2	職員の配置数は適切であるか	14				
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	2			感染症対策だけではなく、日々の清掃を徹底していくとともに会議などで汚れやすい所などの確認を行っていきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	14				
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	14				
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	13	1		ホームページに結果を公表しています。	職員全員が事業所がどんな発信をしているかを周知していきたいと思います。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		14			第三者評価は行っていません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	3			職員会議での研修を多く取り入れましたが、研修会等への派遣はコロナ禍での中止などもあり、あまりできていません。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	14				
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	6		子どもの頑張りを視覚化しています。	標準化と言えるかどうか難しいかもしれませんが、子どもをよりよく評価するためにいろいろな工夫をしています。
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14				
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	14				
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	14				
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	14			季節行事を積極的に取り入れる。	
	16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	11	3			職員会議で長期休暇での課題などしっかり話し合い、それを発信できるようにしていきたい思います。
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	13	1		職員会議で計画についてのモニタリングを行っている。	全員の職員が計画を中心に子どもの発達を考えるように研修などを行っていきます。

	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	1		支援開始前に打ち合わせは行っていますが、全員の職員はそれを踏まえて行動できるようにします。	
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	6	1	支援後は残っている職員で話し合うこともあります。話し合う機会を作っていません。日々の振り返りはしています。今後の課題としたいと思います。	
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14				
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	14			毎月の職員会議で全ての子どものモニタリングを行っています。	
	22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	14				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12	2		サービス担当者会議があれば、管理者が行っています。	
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか					
	25	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	13		1		
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか					
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか					
	30	(放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	13	1		児童発達支援センター長と定期的に会議を行っています。	おひさま園の子どもが主ですが、おひさま園とは常に連携を取っていますが、それが伝わるようにしていきます。
	31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	14				
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	7	1	自立支援協議会を通して連携しています。	おひさま園とは常に連携して、子どもの発達にチームで取り組んでいます。
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか			14		今は難しい。今後も子どもたちの安心できる居場所作りを優先したいと思います。
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	13		1		
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14				

	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	9	5			
保護者への説明責任等	37	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13		1	変更があれば、面談、書面等でお伝えしています。	制度的な難しい話は保護者会などで話させていただいていましたが、今は開催できていません。
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	14				
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	13	1			
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	11	1	保護者会は毎年2回行っていました。	コロナ禍で開催できていません。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14				
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1		毎月の会報、ホームページ等でお知らせしています。	職員全員が事業所がどんな発信をしているかを周知していきたいと思います。
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	13		1	守秘義務について職員会議で話し合っています。	全員の方に安心していただけるように、守秘義務や情報の管理を徹底していきたいと思います。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	12			開かれた方がよいのですが、今は予定していません。
	非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	11	3		
47		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13	1		年2回の避難訓練の実施	安心して通所していただけるように訓練内容も含めて考えていきたいと思います。
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	14				
49		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	13	1		アレルギーについてのアンケートを毎年取る。	医師の指示書はあれば提出してもらっていますが、徹底してはいません。
50		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14				
51		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12	2		年2回以上の人権・虐待防止研修を行っています。	これは0にならなければならない項目だと思います。保護者の方に感じてもらえるくらいに虐待についての意識を高めたいと思います。身体拘束も同様に、行動障害と呼べるまでの利用者いませんが、それでも何が身体拘束なのか、どのような配慮が必要なのか、そのための研修内容を質、量ともに課題としていきます。
52		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	13		1		

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。